臨床検体使用に関するお知らせ

『研究課題名　勤労者における頭痛と休職の関連因子の検討　』

【研究の背景および目的】
頭痛は非常に一般的な症状ですが、生活の質や社会経済的な損害の大きい症状です。特に勤労者においては休職や就労制限に繋がる場合もあり、社会に与える影響は大きいです。治療には薬物療法と非薬物療法があり、ガイドラインも定まっていますが、勤労者における休職との関連についてはあまり知られていません。
そこで、東邦大学医療センター大森病院心療内科では、勤労者における頭痛と休職との関連要因を明らかにすることを目的として本研究を計画しました。
この研究で得られる成果は、勤労者における頭痛患者さんの休職リスクを把握し、治療過程において適切なマネージメントをすることにつながります。

【研究対象および方法】
この研究は、東邦大学医療センター大森病院倫理委員会の承認を得て実施するものです。

2008 年～2017 年までに東邦大学医療センター大森病院心療内科において、加療を行った慢性頭痛の症例（約１００例）を対象とします。

診療録（カルテ）から抽出した臨床的な特徴と経過および治療成績を解析し、疾患の特徴と治療効果を調査します。

今回の研究で得られた成果を、医学的な専門学会や専門雑誌等で報告することがありますが、個人を特定できるような情報が外部に漏れることは一切ありません。

本研究に関してご質問のある方、診療情報や検査結果を研究に利用することを承諾されない方は、下記までご連絡下さい。

【連絡先および担当者】

東邦大学医療センター大森病院
心療内科
職位・氏名　准教授・竹内武昭
電話　03-3762-4151　内線　6893